

## ドイツ自転車保有台数（2008年推計値）

ドイツ連邦統計局では、ドイツ国内の個人世帯の生活様式や生活備品に関する調査を5年毎に実施している。今回の2008年度調査では、項目の中に個人世帯の自転車保有台状況が含まれており、6万世帯の回答結果を基に自転車保有台数が推計されており、その該当部分を以下のとおり紹介する。

### ドイツの個人世帯における自転車保有台数

2008年度調査によると、ドイツ全世帯の80%が1台以上の自転車を保有している。個人世帯の自転車保有台数は7,000万台となり、ドイツの全世帯数を3,900万世帯として、1世帯当たり1.8台の自転車を保有しているとドイツ連邦統計局は推計している。

ドイツ国内では3,110万世帯が自転車を保有し、それら保有世帯のうち35%（約1,089万世帯）は1台保有、33%（約1,026万世帯）は2台保有、そして32%（約995万世帯）は3台またはそれ以上の台数を保有しているとみられる。

家族構成別で見ると、子供有りの世帯の自転車保有は、片方の親の世帯では90%が自転車を保有し、両方の親がいる世帯では94%となっている。一方、子供無しの世帯では82%、更に単身世帯では76%がそれぞれ1台以上の自転車を保有していると報告している。

年代別では、25～55歳が保有年代の中心となるが、そのうち35～45歳代の世帯は90%と保有率が高い。そして70～80歳代は67%、更に80歳より上の年代でも保有率は43%に達している。但し今回の調査では、自転車所有者の使用頻度までは明らかにされていない。

以 上

出所；ドイツ連邦統計局「ドイツの家庭；個人世帯の生活様式と生活備品 2008年版」

（デュッセルドルフ事務所）